



題字 井口 文章
再刊 第265号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2018

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面…春季球技大会
頂点を決める決勝戦
二面…チームを優勝に導いた
MVP6人に直撃インタビュー!

勝利への想い、繋いだ絆

熱く燃えた球技大会を終えて

中間考査明けの5月28日(月)から30日(水)にかけて、3日間の春季球技大会が行われた。3日目は天候に恵まれず時程が変更になったが、どの日も熱戦が繰り広げられ、全学年が盛り上がった。

女バス決勝 3F対3J

決勝戦は3F対3Jの、ハイレベルな対決となった。開始直後に点を決めたのは3F。3Jも点を取り返すが第1ピリオドは7対2で3Fが先制した。



ゴール前に迫ろうとする3Jとブロックする3Fの手に汗を握る攻防

続く第2ピリオドは3Jが先制点を入れる。互いに追加点を上げるも、3Jが意地をこめて10対11で逆転。第3ピリオドでは始まった直後、3Jのファウルで3Fのフリースローとなり2点を獲得した。その後3Fが得点を連取し、

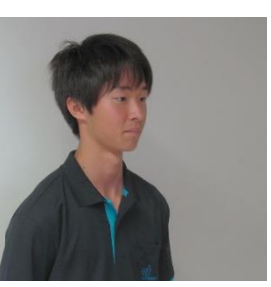
男バス決勝 3L対2L

速攻を得意とする3Lと、守備の安定さが光る2Lの決勝戦。試合は序盤から3Lが猛威をふるう展開に。第1ピリオド開始早々に3Lがボールの主導権を握ると、俊敏な動きで2Lの固いディフェンスをかわし先制点をもぎとる。その後も次々と得点を重ねた3Lが11対1と大差をつけた。

サッカー決勝 3E対2K

前半は2Kが何度かゴール付近までボールを運ぶが、3Eのディフェンスの前に、なかなかシュートを打つことが出来ない。後半になると、3Eのゴール前の攻撃が続き、2K側のキーパーが何度か身を挺して防ぐ。終了間際には両チームともにシュートが増え、両者一歩も譲らない展開となった。引き分けの0対0で延長戦へと試合は続いた。

より良い秋球大目指して



今回の球技大会は雨による予定変更があった。このことについて、球技大会実行委員長の野村康貴くん(3E)は「先ず、情報伝達が上手いことと振り返る。反省点としては、本部で1年生とのミーティングが少なかつたことを挙げたい。」「熱く燃えてしまいう気持ちも分かりますが、審判への

サッカージェット決勝 3I対2F

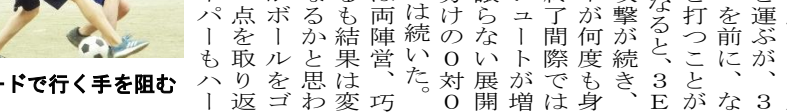
3I対2Fの決勝戦は3Iの攻撃から始まった。3Iは続けて4人を当て、一気に優勢に。2Fも反撃するが、3I

女バレー決勝 2I対3I

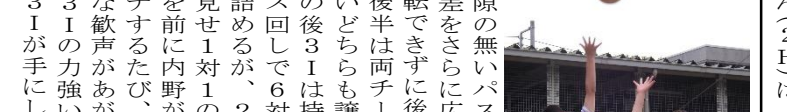
2I対3Iの決勝戦は目が離せない展開となった。1セット、2Iは鋭いサーブでサーブエースを連発する。3Iも必死に拾おうとするが繋ぐことができず、2Iがポイントを取り続ける。結果第1セットは15対0と2Iが1点も取らず終了する。2セット目、序盤は点差が

野次はやめましょう。より良い球技大会にできるように協力をお願いします」と真剣に語った。

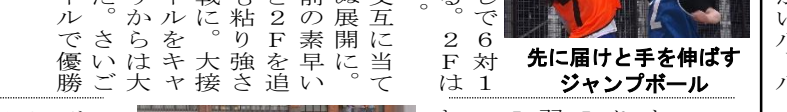
秋球技大会で行われるエキシビジョンマッチ(優勝チームと先生の対決)については、例年とても盛り上がるので次の球技大会では絶対にやりたいと先を見据える。秋の球技大会でも出来るだけ怪我をせずに、思い切り楽しんでくださいと全校生徒にメッセージを送った。(種)



ガードで行く手を阻む



先に届けと手を伸ばすジャンプボール



声を掛け合い、ボールを繋ぐ



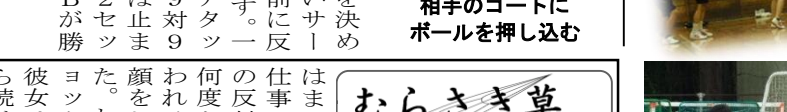
相手のコートにボールを押し込む



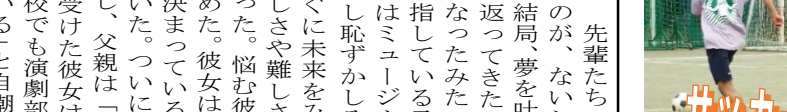
熱い大接戦の連続



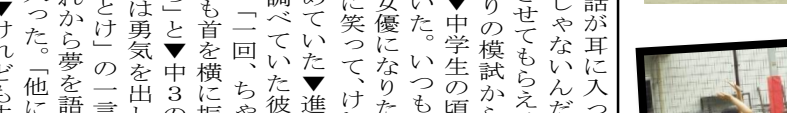
男バレー1D対1J



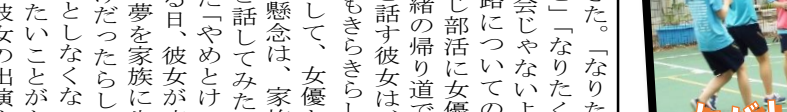
サッカー1A対1H



女バレー1F対3L



女バレー2C対1C



男バレー3F対3A

審判から見た球技大会

ドッジボールの審判をした野球部の山本溪一くん(3A)は「ずっとコートにつきっきりだし、誤審しないようにと結構神経を使うから仕事は大変」と話す。ラインクロスの有無などでジャッジに困ることも多く、他の審判と確認して判断していたという。決勝や3位決定戦はいい試合だからプレッシャーは大きい。ルールも野球と違うから混乱することもある」と難しさを話す山本くん。一方審判はゲーム全体を見るので視野が広くなつた上、とてもやりがいを感じる仕事だったと振り返った。



フェアプレイを呼びかけるバレー部の堀江さん

今回の球技大会で女子バレー部の審判を務めた、女子バレー部の堀江那菜さん(2E)は「細かいルール

を理解していない人が少しいました」と試合を振り返った。その反面、審判が注意した後にはみんな分かってくれそうで、その点については良かったと笑顔。一方、特定のチームが審判や相手チームに対して野次を飛ばすシーンが何度か見受けられ「次の球技大会で

今年も大きな盛り上がりを見せた春季球技大会。各クラス工夫を凝らした掛け声などで閉会式まで、笑顔の絶えないものとなった。教頭先生は「一人ひとりがマナーを守れたから、良い大会になったのだらう」と語った。反省がある人は次の球技大会に活かしていこう。

閉会式

先輩たちの会話が耳に入ってきた。「なりたいたいの、ないわけじゃないんだけど」「なりたくても結局、夢を叶えさせてもらえる社会じゃないよね。返ってきたばかりの模試から進路についての話になったみたいだ。▼中学生の頃、同じ部活に女優を目指している子がいた。いつも一緒に帰り道で将来はミュージカル女優になりたいと話すが、そのころは恥ずかしそうに笑って、けれどももさらさらした瞳はまっすぐに未来をみつめていた▼進路として、女優という仕事の厳しさや難しさを調べていた彼女の懸念は、家族からの反対だった。悩む彼女に「一回、ちゃんと話してみたら何度が勧めた。彼女はいつも首を横に振った「やめとけ」と言われるに決まっているから」と▼中3のある日、彼女が疲れた顔をしていた。ついに彼女は勇気を出して、夢を家族に告白した。しかし、父親は「やめとけ」の一言だけだったらしい。ショックを受けた彼女はそれから夢を語ろうとしなくなった▼彼女は高校でも演劇部に入った。「他にやりたいことがないから続けている」と自嘲する▼けれども先日、彼女の出演する舞台を見に行ったら、舞台上の彼女はとても魅力的だった。上演後に楽屋口で会った時の晴れ晴れとした笑顔も▼錦城新聞で連載中の特集「錦城卒業生」で、様々なジャンルの先輩達に取材をしている。どの人も、不安や迷い、周囲の反対にも真剣に立ち向かい、乗り越えてあこがれの舞台で活躍しているようだった。先輩たちは今でも悩みは尽きないと語るが、ひたむきなその姿はかっこいい▼10年後のことなんて、正直よく分からない。だから、やめとけ、ではなくて「迷ってもいいから諦めるな」と言ってほしい。たとえ夢が叶わなくても、全力で追いかけた経験は自分の中に残るだろう。自分で選んだ道ならば、どこまでだって頑張る。

むらさき草

先輩たちの会話が耳に入ってきた。「なりたいたいの、ないわけじゃないんだけど」「なりたくても結局、夢を叶えさせてもらえる社会じゃないよね。返ってきたばかりの模試から進路についての話になったみたいだ。▼中学生の頃、同じ部活に女優を目指している子がいた。いつも一緒に帰り道で将来はミュージカル女優になりたいと話すが、そのころは恥ずかしそうに笑って、けれどももさらさらした瞳はまっすぐに未来をみつめていた▼進路として、女優という仕事の厳しさや難しさを調べていた彼女の懸念は、家族からの反対だった。悩む彼女に「一回、ちゃんと話してみたら何度が勧めた。彼女はいつも首を横に振った「やめとけ」と言われるに決まっているから」と▼中3のある日、彼女が疲れた顔をしていた。ついに彼女は勇気を出して、夢を家族に告白した。しかし、父親は「やめとけ」の一言だけだったらしい。ショックを受けた彼女はそれから夢を語ろうとしなくなった▼彼女は高校でも演劇部に入った。「他にやりたいことがないから続けている」と自嘲する▼けれども先日、彼女の出演する舞台を見に行ったら、舞台上の彼女はとても魅力的だった。上演後に楽屋口で会った時の晴れ晴れとした笑顔も▼錦城新聞で連載中の特集「錦城卒業生」で、様々なジャンルの先輩達に取材をしている。どの人も、不安や迷い、周囲の反対にも真剣に立ち向かい、乗り越えてあこがれの舞台で活躍しているようだった。先輩たちは今でも悩みは尽きないと語るが、ひたむきなその姿はかっこいい▼10年後のことなんて、正直よく分からない。だから、やめとけ、ではなくて「迷ってもいいから諦めるな」と言ってほしい。たとえ夢が叶わなくても、全力で追いかけた経験は自分の中に残るだろう。自分で選んだ道ならば、どこまでだって頑張る。

球大MVP大特集

今年初の3学年全体で行った行事、春季球技大会。中でも特に球技大会を盛り上げ、クラスを優勝に導いた6人のMVPに、試合の感想や練習の様子、次の秋季球技大会への意気込みを取材した。

サッカー 吉田壮志くん(3E)

サッカーMVPに選ばれたのは吉田壮志くん。以前に男子バレーのMVPにも選ばれたことがある吉田くんは、再び選ばれたことが嬉しいと笑顔で話した。2Dとの準決勝では、ピンチの時も後輩には負けないという強い気持ちで勝つことが出来たと話す。2Kと対戦した決勝戦は、延長後半まで両者とも無得点の状態が続いた。「チームの強みはディフェンスでした。得点を入れないといけない中、最終的にシュートを決めることが出来てよかったです」と決勝戦を振り返る。強いディフェンスにより、毎試合無失点に抑えられたことをチームメイトに感謝していると話した。また、クラスメイトの応援が力となり、優勝に繋がったという。自身のプレイについては「点を入れることが仕事だと思っていたので、全試合で点を決められてよかったです」と語った。秋季球技大会の目標は連覇。MVPとしては「ハットトリックしたい」と意気込んだ。(終)

決勝戦で相手チームのゴールキーパーが部活の後輩でした。ボールを追いかけて突っ込んでしまったとき、引退間際に怪我が許されず自分を体で受け止めてくれました。後輩には本当に感謝しています。

普段からチームメイト同士の仲が良かったので、チームワークの良さが優勝につながったと思います。皆で頑張ることができました。

沢山の応援とクラス、チームのおかげで勝利することができました。更なる技術を身に付けて、2連覇自分のクラスからMVPを出したいです。次の球大もみんな楽しんでみましょう。

男バス 渡邊優貴くん(3L)

男子バスケットボールMVPの渡邊優貴くん。「今年の1年生はかなり強いと聞いていたので不安でしたが、2年生の春季球技大会から3連覇出来て嬉しいです」と笑顔で話した。準決勝の終盤では渡邊くんが決めたスリーポイントシュートで逆転勝利。このことがMVPに選ばれた要因ではないかと話す。「最後までどちらが勝つか分からない試合だったから、勝つことができて良かったです」と振り返った。球技大会に向けて、フォーメーション確認や他チームの分析を入念に行っていたという。また、ゴール下に入ってきたボールは必ず止め、得点を入れさせないということをモットーとしていたそうだ。秋季球技大会へ向けて「試合終盤に疲労感で足が止まりがちになっても、全員でカバーし合う余裕のあるチームになりたいです」と語った。(泰)

男子バレーのMVPに選出されたのは江守太一くん。球技大会について「優勝できて純粋に嬉しいです」と笑顔で話した。試合で最も印象に残ったことは、2年生の時打つことが出来なかったスパイクを今回の球技大会では思いっきり決められたことだそう。

江守くんはチームメイトに対して「みんなのおかげで勝つことが出来ました」と語る。特に感謝したいのは、セッターを務めた厚澤翔太くん(3B)。決勝戦では、毎回ピンポイントで自分の欲しい所にボールを落とす大活躍をしてくれたと話す。「自分がMVPではなかったら、厚澤くんがMVPだったと思います」と笑顔を見せる。一方で、バックアタック、クイックアタックの2種類のスパイクを打つことができなかったと残念がる。秋季球技大会に向けて一生懸命練習してその二つを完成させ、次回も優勝したいと意気込んだ。(薊)

男バレー 江守太一くん(3B)

ドッジ 安里歩実さん(3I)

ドッジボールのMVPに選ばれた安里歩実さん。MVPに選ばれたことについて「本当に嬉しい。選んでくれてありがとう」と笑みをこぼした。球技大会前は外野が投げたボールを避ける練習に加え、他クラスとの合同練習をしていた3I。作戦は内野がボールを避け続け、外野が相手チームの内野を一人ずつ確実に減らすことだったそう。ハンドボール部に所属する安里さんは、ボールに威力と速さをつけるために投げる直前まで手放さないことや、動きが鈍くなりがちな足を狙うことなどを意識したと語る。また2Fとの決勝戦は3Iの『絶対に勝ちたい』という強い気持ちが優勝に繋がった。「試合前はとても緊張しました。決着がつかないまま1対1にまでもつれ込んで。ハラハラしたけど、クラスメイトが最後まで諦めずに粘り続けてくれました」と振り返る。安里さんは「秋は総合優勝を目指そう」とクラスに向けて呼びかけた。(菘)

自分のプレイについては、相手のパスカットができたことが良かった点だと思います。コート内では散り散りに広がるよう呼びかけました。決勝戦は不安と緊張でいっぱいでしたが、チーム全員のおかげで優勝することができました。

私がMVPではなくてもいいけど、皆の力が強かったです。経験者がたくさんいたのも勝因の一つでした。チームメイトのみんなに恵まれていてありがたいです。

1年時から球技大会でバスケットに出ている平尾夏鈴さん。「去年は準優勝だったので、今年こそは優勝しようと思っていました」と嬉しそうに語った。レイアップシュートに加えフリースローも決めた決勝は、小学生から中学生までバスケットをしていた経験を生かした試合であったという。「事前に作戦を立てていたことが勝利につながりました。試合では先を読むことも重要」と振り返った。決勝戦の対戦相手には同じ部活の仲間がいて、試合前は気が引けたが「お互い真剣に戦おうと約束していたので、堂々とプレイできました」と胸の内を明かした。(薫)

みんなしっかりサーブを入れてくれたおかげでゲームを優位に進められました。優勝できたのも私ひとりだけの力じゃなくてチームのみんなのおかげです！本当にありがとう！

女子バレーボールで見事優勝し、MVPに選ばれたのは津野葵衣さん。優勝できた理由を聞くと「一人ひとりが声かけし合ったおかげで、小さなミスがあってもすぐに持ち直すことができました」と試合を振り返る。特にチームメイトである長谷川真子さん(2I)が第一セットで、15回連続のサーブを決めてくれたことが大きな勝因だと話す。「もう一人MVPを選ぶなら、長谷川さんだと思います」と笑顔で語った。

津野さんによると、2Iはもともと明るい雰囲気のクラスだったそうだが、この3日間を通してさらに男女の仲が深まったという。「クラスの雰囲気がよくなったのも勝因の1つです」。秋期球技大会も総合優勝を目指したいと語り「今回は女バレー以外勝てなかったけど、次回も頑張って何か1つは優勝しよう」とクラスメイトに呼びかけた。(蘭)

女バス 平尾夏鈴さん(3F)

女バレー 津野葵衣さん(2I)

2018年 春季球技大会得点表(3日目)

	男子					得点	女子					得点	男子					得点	女子					得点
	サッカー	バレー	バスケ	ドッジ	バレー		バスケ	サッカー	バレー	バスケ	ドッジ		バレー	バスケ	サッカー	バレー	バスケ		ドッジ	バレー	バスケ			
1A	x△△△x-		xx-	x△x-		11	2A	xx-	Ox-		OOx-	xx-	9	3A	x△△△x-	OOx-	OOx-	OOx-				22		
1B	xx-		xx-	OOx-		8	2B	x△△△x-	x△x-		x△△△△x-	xx-	12	3B	Ox-	OOO☆		xx-	OOx-			27		
1C		xx-	Ox-		x△x-	OOOx■▲	16	2C	OOx-	Ox-		Ox-	x△△△△x-	18	3C	Ox-	xx-		Ox-	x△x-		8		
1D		xx-	x△△△△▲		x△x-	Ox-	15	2D	OOxx-	x△△△x-		Ox-	OOxx-	19	3D		OOOxx-		xx-	xx-		15		
1E	x△x-		xx-	Ox-		x△x-	7	2E		xx-	xx-	xx-	x△x-	2						OOx-				
1F	x△x-		OOx-	x△△△△▲		OOOx■▲	29	2F		x△x-	xx-	OOx-	Ox-	15	3E	OO☆	OOOx■x-			x△△△x-	xx-	28		
1G		x△x-	xx-		x△x-	Ox-	7	2G		Ox-	Ox-	Ox-	Ox-	12	3F	xx-	x△△△△▲		OOx■x-		OO☆	31		
1H	OOx■▲		x△x-		x△△△x-		18	2H		xx-	x△x-	x△x-		7	3G		OOx-	Ox-	Ox-	xx-		12		
1I	Ox-		xx-		x△△△x-	Ox-	10	2I		Ox-	OOOxx-	xx-	OOO☆	30	3H		OOOx-	Ox-	Ox-	Ox-		22		
1J	xx-		OOx■x-		xx-	xx-	6	2J		xx-	x△△△x-	xx-	xx-	4	3I		x△x-	x△x-	OOO☆	OOOx-		35		
1K	Ox-		Ox-		OOOxx-	x△x-	17	2K		OOOx-	OOx-		xx-	22	3J		Ox-		xx-	Ox-	OOOx-	16		
1L		Ox-	xx-	xx-	xx-	xx-	3	2L		Ox-	OOOx-	Ox-	OOx-	25	3K		x△△△△x-	Ox-	Ox-	x△△△△x-		18		
1M	xx-		x△△△△x-		xx-	xx-	6								3L		Ox-	OOO☆	OOOxx-	x△△△△x-		38		

☆…優勝 ○…ブロック優勝 ●…勝ち △…敗者復活戦勝利 ■…準3決勝 ▲…3位 x…負け -…敗退